



函館北ロータリークラブ会報

マット・カパラス 国際ロータリー会長テーマ

Rotary brings hope

ロータリーは希望をもたらす



椎谷 龍彦 会員

冬の大野平野

《第1142回例会》 第36回 3月11日(水)

本日のプログラム

パキスタン・トルコを旅して

下郡山信一 会員

★会 長 沢田 鶴造

★幹 事 石橋 輝男

会長	沢田 鶴造	副会長	石橋 輝男
幹事	三浦 浩一	会計	大田 隆夫
広報	大田 隆夫	庶務	三浦 浩一
文化	三浦 浩一	スポーツ	大田 隆夫
その他	大田 隆夫		

日 月 年 日 月 年 日 月 年 日 月 年

1986年 3月 11日

本日は3月11日(水)の例会が、本会会場の北函館ホテルにて行われ、出席者は、

会長 沢田 鶴造 副会長 石橋 輝男 幹事 三浦 浩一 会計 大田 隆夫

出席者 大田 隆夫 三浦 浩一 石橋 輝男 大田 隆夫 三浦 浩一 石橋 輝男

欠席者 大田 隆夫 三浦 浩一 石橋 輝男 大田 隆夫 三浦 浩一 石橋 輝男

本日の例会は、パキスタン・トルコを旅して、下郡山信一 会員の報告が行われ、

その後、三浦 浩一 幹事の司会のもと、大田 隆夫 会計の報告が行われ、

石橋 輝男 副会長の挨拶で閉会となりました。

1986～1987

〈第1141回例会〉第35回

3月4日の記録

●司 会 沢田 鶴造 会長

●斉 唱 奉仕の理想

●ピジター 函館R.C.山内哲夫君 他4名、函館東R.C. 日下部一博君、
五稜郭R.C.谷杉晃一君

●ゲ ス ト 米山奨学生 謝 寛永 君

●会長報告 沢田 鶴造 会長

2月22日 台湾台北東北R.C.記念式典に参加し、心のこもった歓待を受けたことをご報告致します。

●幹事報告 石橋 輝男 幹事

- 次年度会長幹事セミナーが4月5日札幌で行われます。
- 謝 寛永さんの送別会を3月9日6時より一乃松で行ないます。
- ロータリーの友3月号の39Pに、昨年11月に来函された台湾台北東北R.C.の皆さんとの交流歓迎夜間例会の写真が出ております。

●米山奨学生カウンセラー 安藤 勝見 会員

米山奨学生の謝 寛永君が2月17日水産学博士号の資格を取得しました。会員の皆様とともに喜びたいと思います。

●職業奉仕委員会 飯田 貢一 委員長

2月17日実施した移動夜間例会は赤木会員の協力で西武で行われ、西武セゾングループについての説明とその後知内漁協かき料理いろいろを参加会員58名とおいしく食べ、盛会に終了しました。

●北クラブ創立25周年記念事業について 下郡山 信一 会員

北クラブ創立25周年記念式典は来年挙行致しますが、当クラブ内で記念事業の内容を検討しております。青函トンネルが来年開通しますが、同トンネル開通

の動機付となったのは、あの洞爺丸台風による連絡船遭難事故です。その記念慰霊碑の清掃を継続的に実施して来ましたが、記念事業として洞爺丸遭難事故慰霊碑公園の一層の環境整備に力を入れるべく関係行政当局と打ち合せ準備中です。

●親睦委員会 三沢 洋大 副委員長

ニコニコBOX投入報告

沢田 会長……………東北R.C.訪問無事終了しました。

宮崎 会員…………… ” ”

三本木会員…………… ” ”

石橋 幹事…………… ” ”

里城 会員……………ニコニコBOXに協力します。

金沢 会員…………… ” ”

高橋 会員…………… ” ”

山本 会員…………… ” ”

白井 会員…………… ” ”

佐藤(輝)会員…………… ” ”

飯田 会員……………2月17日 グルメアワー例会、無事終了しました。

佐藤(宏)会員……………赤城会員と幹事さんには、会報作成で御世話になりました。

安藤(紀)会員……………ホームクラブ欠席がちの御詫び。

小池 会員……………3月の結婚シーズンになりました。

佐々木(耕)会員……………今月もよろしく。

松見 会員……………ちょっと、いいことがありました。

橋場 会員……………月の始めにつき。

寺西 会員……………移動例会欠席がちの御詫び。

安藤(勝)会員……………謝寛永君の博士号取得を祝って。

中野 会員……………月の始めにつき。

鈴木 会員…………… ”

南木 会員…………… ”

新 会員…………… ”

- ★誕生祝 1日:戸崎会員、8日:青柳会員、12日:成沢会員、14日:川村(邦)会員、
22日:高杉会員、31日:南木会員
- ★結婚祝 6日:石橋会員、11日:阿部会員、12日:伊藤(眞)会員、21日:戸崎会員、
28日:寺西会員

◎卓話 The 4 way Testについて 遠藤 尚義 会員

先日飯田会員から「4つのテスト」につき話をするようにという要請がございましたので、今更どうかとは思いましたが、15分程時間を頂いてこの責をふさぎたいと思います。

さて、私がロータリアンになりまして、あしかけ30年になりますが、入会当初この聞き馴れない4つのテストにつき、テストと云う言葉に大変ヒッカカリを覚えました。TESTと云うのは試験みたいなものかな、或は試練とでも訳すのかなと考えました。新入会員の方々も私と同じような感じを持たれた方がいらっしゃるかも知れません。今日は新入会員の方々の中でも「4つのテストなんて知らないよ」と御喋る方がいると思いますので、その会員にお話をして理解して頂くためにお話を進める積りでおります。

さて、ロータリーには沢山の標語がございます。

一般には職業奉仕に関するものですが、標語そのものが日常の処生訓に連がるものでございます。例えば Helpfulness for others Thoughtfulness of others のような又、Service above self 又、He profits most, who serves best (奉仕に徹する者に最大の利益あり) のようにその解釈上問題を投げかけた標語もございますし、又年度毎の国際ロータリー会長のターゲットも本年度マツトカパラス会長の「ロータリーは希望をもたらす」を入れて恐らく計算はしてみませんが、相当な数にのぼると思います。その中の1つがこれからお話をする「4つのテスト」でございます。

The 4 way Test (4つのテスト)

- (1) 真実かどうか Is it the Truth ?
- (2) みんな公平か Is it Fair to all concerned ?
- (3) 好意と友情を深めるか Will it build Good will and Better Friendships ?
- (4) みんなのためになるかどうか Will it be Beneficial to all concerned ?

以上であります、これをお作りになったハーバート J テーラーさんの直筆によりますと、我々の手許にある4つのテストの印刷物では Truth, Fair, good will, Better Friendships Beneficial が大文字で書いてありますが、総て小文字で書いてあります。この違いはどうしたことでしょう。どこに行き違いがあったのでしょうか。私としては矢張り直筆を信ずる外はないと思います。御意見がありましたら後程御聞かせ下さい。

記語に就きましては、私なりの意見を持っておりますが、今日は省略して先に進みます。最初に申し上げました通り、私がヒッカカリを感じた「test」と云う言葉は岩波の英和辞典に依りますと、試験・検査・吟味の意味だと書いてあります。小堀憲助著ロータリークラブその理論と実態と批判という本では、簡単に標語と片付けています。まあ今はテストはテストだと素直にそのまま受けとることにして、いよいよ本論に入りましょう。

この「4つのテスト」の作者は、HERBERT J. TAYLOR さんです。

1932年シカゴの或るアルミ食器製造会社の社長を引き受けたとき、その会社は破産状態になっていました。彼は債権者の依頼で会社の建て直しに乗り出しました。テイラー氏が色々調べてみると会社の経営状態は大変に悪く絶望に近いものでした。そこでテイラー氏はこの瀕死の重傷を負った会社を再建するためには、従業員一同打って一丸とならなければならない。打って一丸となるためには共通の信条をもたねばならない、而も強力な同業者と競争できるくらいの製品を造り出す精神的基盤が必要だと考えました。普通なら生産がどうの材料がどうのと有形のものに目を奪われるものですが、無形なものだが製造工程の中に最も大切な、しかも根底をなす人間の心に着目したのは、正に彼テイラー氏の卓見でありました。そして6ヶ月位社長室の机の上に書いては消し、消しては書いている間に、天下りのなきびしい倫理訓ではなくて、言葉の上では柔らかいが、よく読んでみると自ら身をひきしめるようなこの「4つのテスト」が出来上がったということなのです。

この「4つのテスト」の内容をみますと中核をなすものは勿論「真実かどうか」と云うことです。真実は一つしかありません。ありのままを、ありのままに、表出することです。仲々難かしいことですが、これによって人間相互の信頼感が生れます。しかし真実だからと云って、直ちに行動に移せる場合とそうでな

い場合とがあります。それを決定する原動力として「公正」「好意と友情を深めるか」「みんなのためになるかどうか」があるわけで、云わば「4つのテスト」の(2)(3)(4)は(1)の伏線としてあるように思われます。

この4つの規準に照らして或は座右銘として絶えず各自が自己規正しながら、会社全体が一丸となって生産努力した結果みるみるうちに業績はあがり、出発時点で銀行から6,000ドルの借入金で経営を始めたのが、10年後には100万ドルの配当金を株主にらせるまでに大成長をとげたのでした。

そこでテイラー氏が今から33年前1954年国際ロータリー会長に就任した時にターゲットとして再び高くかかげ、全世界のロータリアンにこの規準にしたがって行動することを懇願しました。それ以来この「4つのテスト」はロータリアンの実践倫理座右銘として用いられ今日に至ったのであります。

この座右銘を我々日本人が実践すると外国人が「日本人の本心」が判らないと云って嘆く「本音と建前」との差がなくなって、よい「日本人の心」が理解し易くなり日本人が立派に見えてくるのではないかと思います。

その意味でもこの「4つのテスト」は数あるロータリー標語の中で最も重要なものであると私は考えます。

◎ 出席報告

会 員 数	65名	出 席 率	函 館 北 2月25日	91.67 %
出 席 席	33名		函 館 東 2月24日	92.00 %
欠 席 席	32名		函 館 2月19日	92.44 %
他クラブ出席	22名		函館五稜郭 2月20日	100.00 %
出席合計	55名		函 館 亀 田 2月23日	75.55 %
除 外 者	5名			

次回・3月18日
プログラム

韓国経済会について

在札大韓民国総領事 許 世麟 氏

例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 例会場：函館国際ホテル
事務所：函館市大手町5-10 日魯ビル3F TEL (0138) 23-3870



函館北ロータリークラブ会報

マット・カパラス 国際ロータリー会長テーマ

Rotary brings hope

ロータリーは希望をもたらす



椎谷 龍彦 会員

函館大平野

《第1143回例会》 第37回 3月18日(水)

本日のプログラム

韓国経済会について

在札大韓民国総領事 許 世麟 氏

★会 長 沢田 鶴造 ★幹 事 石橋 輝男